

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	21-4																																							
PDCA	主要事業名	妊婦・産婦・乳幼児健康診査事業	部課名	子ども未来部 子育て相談課	担当	神谷																																							
					内線	424																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 1 - 1 - 1 単位施策： 子どもと子育て家庭 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 119,134 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.01.06.50 3か年実施計画(当該年度事業費等)： ー 千円																																												
	事業概要等	事業概要： 妊産婦、乳幼児の疾病や障がいの早期発見・早期対応等、健康増進を図るとともに、保護者の育児不安や家庭環境を把握し、個々に適した子育て支援を図るために、妊娠期から乳幼児期における各種健康診査を実施する。 事業目的： すべての子どもが心身ともに健やかに生まれ育つことを目的とする。 事業内容： 妊産婦・乳幼児健康診査の実施(疾病や障がいの早期発見、発達確認、育児相談) 問題点・課題等： 就労や疾病などを理由に健診に来所できない家庭があるが、家庭訪問等により、全数把握に努めている。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	119,134 千円	適切な健康診査を実施することにより、個々に適した子育て支援を図ることができるため。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費	疾病・障がいの早期発見により、保護者ととも個々に応じた支援を検討し、必要や医療やサービス等へ繋ぐことができる。																																											
	116,944 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th></th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">乳幼児健診受診率(3か月児、1歳6か月児、3歳児)</td> <td>実績値</td> <td>99.4</td> <td>99.1</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>99.5</td> <td>99.5</td> <td>99.5</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	乳幼児健診受診率(3か月児、1歳6か月児、3歳児)	実績値	99.4	99.1	—	%	目標値	99.5	99.5	99.5	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
	乳幼児健診受診率(3か月児、1歳6か月児、3歳児)	実績値	99.4	99.1	—	%																																							
		目標値	99.5	99.5	99.5	%																																							
	実績値																																												
	目標値																																												
その他	実績値																																												
	目標値																																												
2,190 千円																																													
0 千円																																													
0 千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																											
	108,971 千円	妊産婦健診を医療機関へ委託し、心配な妊産婦については医療機関と連携することで、妊娠期からの支援に繋げることができた。乳幼児健診については保健センターにて実施し、保健師他専門職にて直接親子の状態を観察し、支援の必要性を判断し、個々の不安や心配に応じた必要な支援に繋ぐことができた。																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">乳幼児健診受診率(3か月児、1歳6か月児、3歳児)</td> <td>実績値</td> <td>99.1</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>99.5</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標		令和3年度	単位	乳幼児健診受診率(3か月児、1歳6か月児、3歳児)	実績値	99.1	%	目標値	99.5	%																												
成果指標		令和3年度	単位																																										
乳幼児健診受診率(3か月児、1歳6か月児、3歳児)	実績値	99.1	%																																										
	目標値	99.5	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 妊産婦健診では、医療機関にてエジンバラ産後うつ質問票にて産後の精神状態の変化を数値化し、速やかに報告をもらうことで、不安定な状態の産婦に早期対応することができた。乳幼児健康診査では、日程調整に柔軟に対応したが、新型コロナウイルス感染症による受診の拒否や、疾患や障がいによる個別対応の希望により目標値を下回った。未受診者には訪問や面接を行い、全員の安否と状態の確認を行うことができた。3歳児健診での視力検査ができず、半年後に確認になる割合が多い。																																											
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 乳幼児健康診査では子どもの疾病や障がいの早期発見のみならず、保護者の気持ちに寄り添い、育児や家庭内の困りごとへの対応方法などを伝えていく。必要時には事後教室や関係機関へ繋ぐことで、切れ目ない個々に適した子育て支援を行っていく。また、聴覚異常を早期発見することで、必要な支援を早い時期から開始できるように、令和4年度より新生児聴覚検査の費用助成を開始する。視力検査については、3歳児健診にて実施可能なスクリーニング方法を検討していく。																																											
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>大きい</td> <td>⑦コスト削減余地</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ある</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																	
		有効性		効率性																																									
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																								
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																								
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																										

目標項目(予算計上時に作成)

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用

評価項目(決算時に作成)